

研究科横断 Flex BMD コース（博士前期課程）について

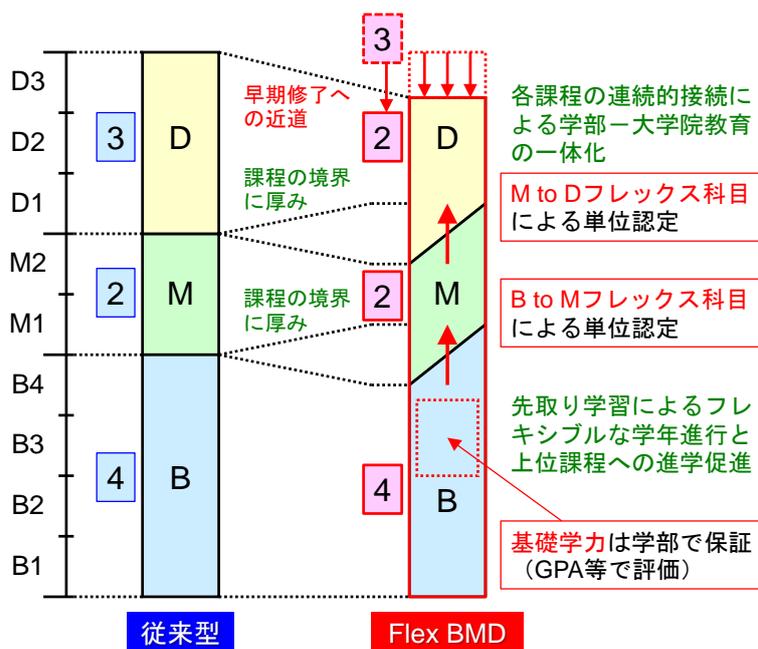
自然科学研究科では、環境生命科学研究科と協力して多様に変化する社会的ニーズに応える専門知識と能力を、より早く、より深く、より広く学ぶことができる研究科横断 Flex BMD コースを 2017 年度に開始しました。本コースは、講座毎に設定された基準を満たす選ばれた優秀な学生に準備された特別なコースです。

本コースには 3 つの特徴（= 3 つのフレキシビリティ）があります。



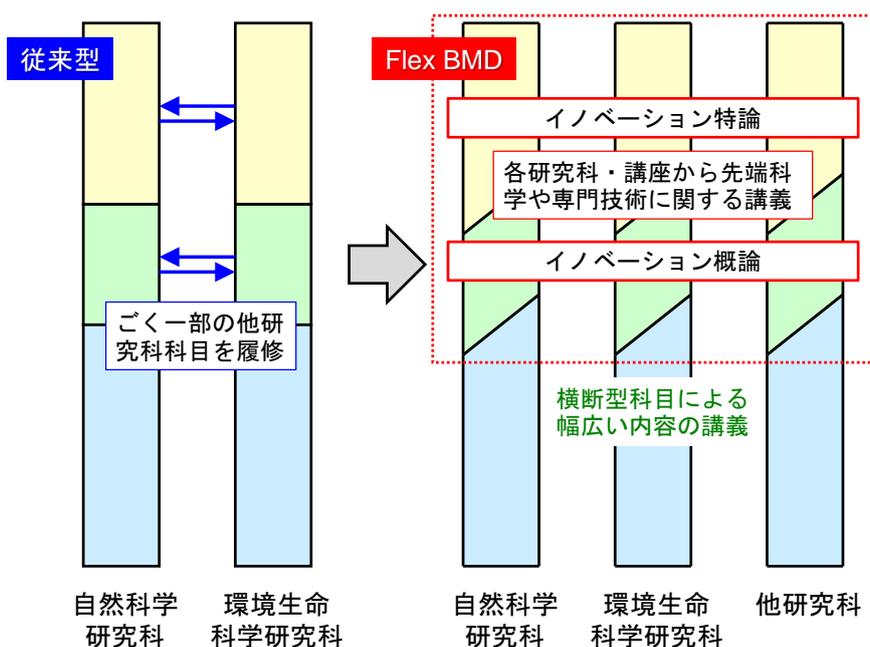
(1) 学ぶ時間のフレキシビリティ

学部 4 年生（B）で博士前期課程（M）の科目を履修する「B to M フレックス科目」を多数設置しています。この先取り学習システムを利用することにより、一般の学生よりも早く大学院の専門科目を履修することが可能となり、また、科目の成績も引き継がれます。コース履修生は、大学院進学後に時間的な余裕ができ、研究をより積極的に進めることができます。



(2) 学ぶ分野のフレキシビリティ

最近の技術者と研究者には、より広い視点あるいは自分の専門とは違う視点から見たときに生まれる新たな着想が求められています。本コースでも、これに対応するため、「**イノベーション概論**」という複数の研究科に所属する各分野のスペシャリストが担当する講義を設置しています。この講義を通して、世界的にどのような研究や技術が積極的に推進されており、それが現在どの程度のレベルであるかを効率良く知ることができます。



(3) 学ぶ場所のフレキシビリティ

現代社会では、ほとんどの製品が世界規模で製造されており、技術開発にも国際的な視野とコミュニケーションが必要です。本コースでは、学ぶ場所を大学内に限定しない、**学外実践 (Off-Campus Practice)** 科目群と**グローバル実践 (Global Practice)** 科目群を設け、キャンパス外や国外でのプレゼンテーションやインターンシップを単位化します。

以上の科目以外にも、自分のキャリアや技術者・研究者としての教養、博士後期課程への進学について考える場を提供する「自然・環境科学教養・実践論」や、企業で強く求められている知的財産やマネジメントに関する講義である「知的財産論」と「組織マネジメント概論」も準備しています。これらの科目のすべてが通常の課程修了要件単位 (= 30 単位) 外の必修科目になっているわけではなく、各専攻や講座の専門性、コース履修生の将来を考えた最適な配分になっています。詳しくは、[「3. カリキュラム」](#)を見て下さい。